
EnterpriseにおけるRuby適用実践

～ Ruby適合領域・開発/運用環境の調査と整理～

2015年2月
日本OSS推進フォーラム アプリケーション部会
東京ガス株式会社
片瀬 成識

日本OSS推進フォーラム アプリケーション部会

【敬称略】

- 東京ガス株式会社 片瀬 成識(リーダー)
※副部長
- 株式会社ティージー情報ネットワーク 武藤 紀之(メンバー)
- アースインターシステムズ株式会社 藤部 孝志(メンバー)
- 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 垣木 雅彦(メンバー)

アプリケーション部会定例会活動状況

2014/4/2	⇒部会にてRuby適合領域・開発／運用環境の参加メンバー4名を決定
2014/5/14	⇒RubyAssociationのWebに掲載された事例からカテゴリ分けした事例を報告 ※Ruby/Ruby onRailsのバージョン情報などが少ないため、部会メンバーから事例収集
2014/6/18	⇒部会メンバーから情報をもらい分類マップを充実する方向で検討 ※Ruby事例のヒアリングシート案を提出(部会にてブラッシュアップ)
2014/7/15	⇒部会メンバーから情報をもらい 分類マップを充実する方向で再検討
2014/8/20	⇒部会メンバーから入手した資料及び作成資料について、ブラッシュアップ
2014/10/8	⇒部会メンバーから入手した資料及び作成資料について、ブラッシュアップ
2014/11/5	⇒部会メンバーから要望された資料を追加
2014/12/11	⇒部会メンバーから要望された資料を追加し、資料のまとめと考察を追加

Ruby適合領域・開発/運用環境について、2014年度の日本OSS推進フォーラム アプリケーション部会の活動として、調査と整理を行いました。

毎月1回程度の定例会において部会メンバーとの議論を反映し、2015年1月の日本OSS推進フォーラム「2014年度活動報告会」及び「日本OSS推進フォーラムアプリケーション部会のWebページへ公開すること」を目標に、この度、活動報告をすることとなりました。

1. Ruby適合領域事例

1.1. Ruby適合領域

1.2. 表と円グラフによる整理

1.3. 利用機能による整理

1.4. 参考:事例ヒアリング詳細

2. Ruby開発／運用環境事例一覧

2.1 Ruby開発／運用環境

2.2 Ruby開発／運用環境事例(詳細)

3. まとめ

1. Ruby適合領域事例

Ruby適合領域での調査と整理は、インターネットで公開されているRuby/Ruby on Railsの情報から事例調査をしましたが、Ruby/Ruby on Railsなどのバージョン情報などが記載されている情報は、ほとんどない状況でした。

そのため、アプリケーション部会メンバーから公開することができる主要なRuby適合領域事例のヒアリングを実施し、「事例のリリース時期」、「事例のリリース時期とカテゴリ」、について整理及び分析をしています。

次ページ以降でRuby適合領域の分析をするために、「リリース時期」、「カテゴリ」、「開発名称」の表やRuby/Ruby on Railsの適合領域の図を作成しています。

1.1.1. 主要な事例一覧

リリース時期	カテゴリ	開発名称
2009年7月	プロジェクト管理	「 Project Collaboration for J-SaaS 」
2009年10月	地震防災	「 SUPREME (シュープリーム) 」
2010年4月	娯楽	「水族館エンターテイメントシステム」
2010年5月	オフィス機器／危機管理	「ききマネージ」
2011年1月	教育	「リメディアル教育システム」
2012年9月	業務	「業務システム自動搭載システム」
2012年12月	営業支援システム	「新営業支援システム」
2014年9月	Webメール	「SYNCDOT」
2014年9月	ID管理	「アカウント情報同期システム」
2014年12月	フィールドワーク	「Project E」
2014年12月	コンテンツ管理	「TapSales」

表1.1.1 「リリース時期」、「カテゴリ」、「開発名称」で整理

1.1.2. 事例のリリース時期で整理

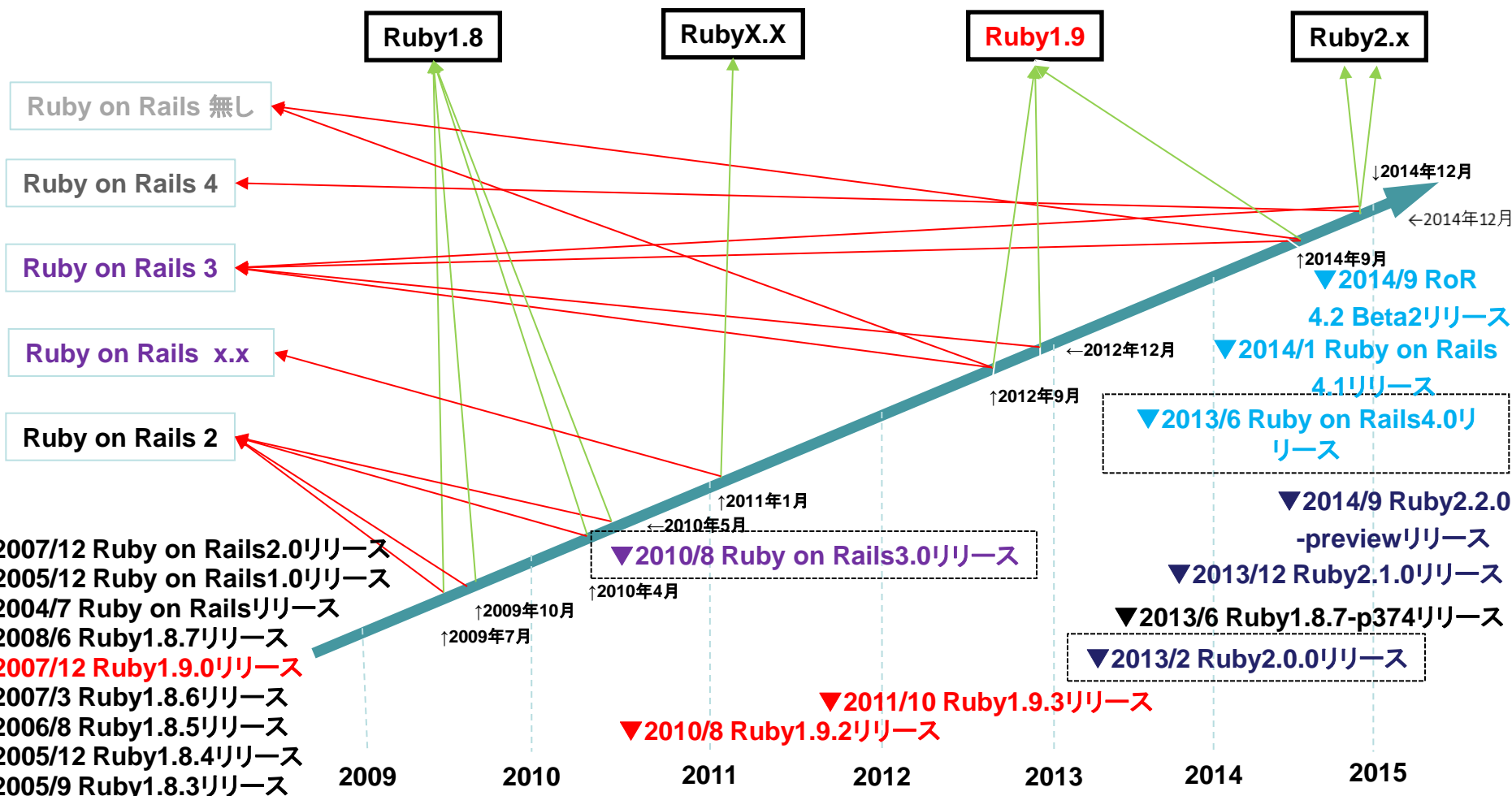


図1.1.2. Ruby/Ruby on Railsと事例のリリース時期

1.1.3. 事例のリリース時期とカテゴリで整理

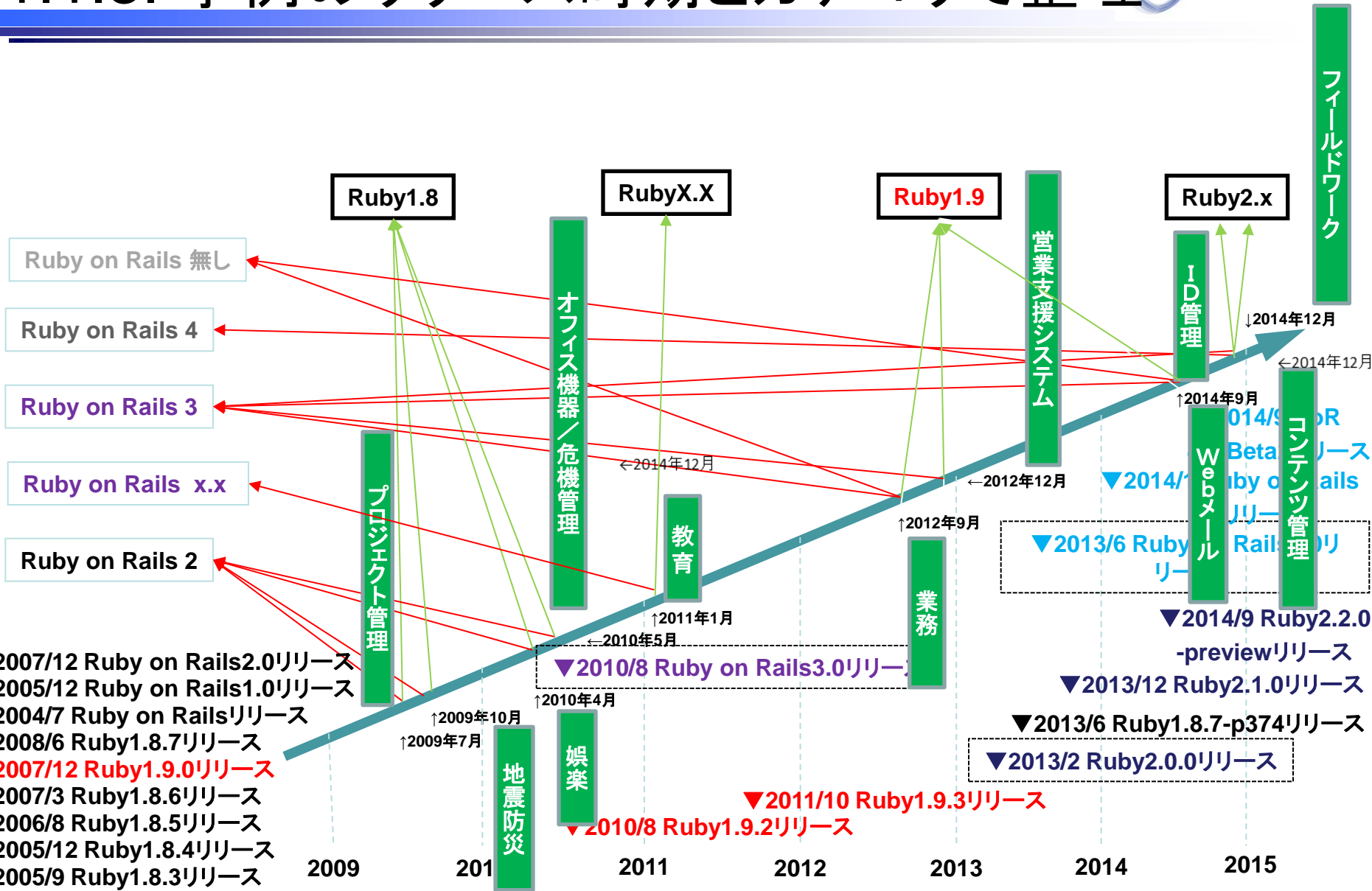


図1.1.3. Ruby/Ruby on Railsと事例のリリース時期(カテゴリ表示)

- ▼2007/12 Ruby on Rails2.0リリース
- ▼2005/12 Ruby on Rails1.0リリース
- ▼2004/7 Ruby on Railsリリース
- ▼2008/6 Ruby1.8.7リリース
- ▼2007/12 Ruby1.9.0リリース
- ▼2007/3 Ruby1.8.6リリース
- ▼2006/8 Ruby1.8.5リリース
- ▼2005/12 Ruby1.8.4リリース
- ▼2005/9 Ruby1.8.3リリース
- ▼2004/12 Ruby1.8.2リリース
- ▼2003/12 Ruby1.8.1リリース
- ▼2003/8 Ruby1.8.0リリース

Ruby/Ruby on Railsの適合領域の分析について、RubyとRuby on Railsのバージョン、リリース時期とカテゴリで整理をしています。

【説明と分析】

- ・2009年中からプロジェクト管理、地震防災があり、2010年から「娯楽」、「オフィス管理／機器管理」がリリース
- ・2011年からは、「教育分野」、2012年には、「業務」、「営業支援システム」などのカテゴリをリリース
- ・2014年から「Webメール」、「ID管理」、「フィールドワーク」がリリース

リリース時期を見ると、2012年がRuby 1.8 と Ruby 2.0から「Ruby on Rails3.x系」への移行時期となっています。2014年中から「Ruby2.x系」の利用が開始され、12月頃には「Ruby on Rails 4」を使った開発予定があります。新たな流れが出てきています。

※「Ruby on Railsなし」は、Ruby単独による開発案件となります。

※教育のカテゴリは、Ruby/Ruby on Railsの各バージョンは非公開となります。

1.2. 表と円グラフによる整理

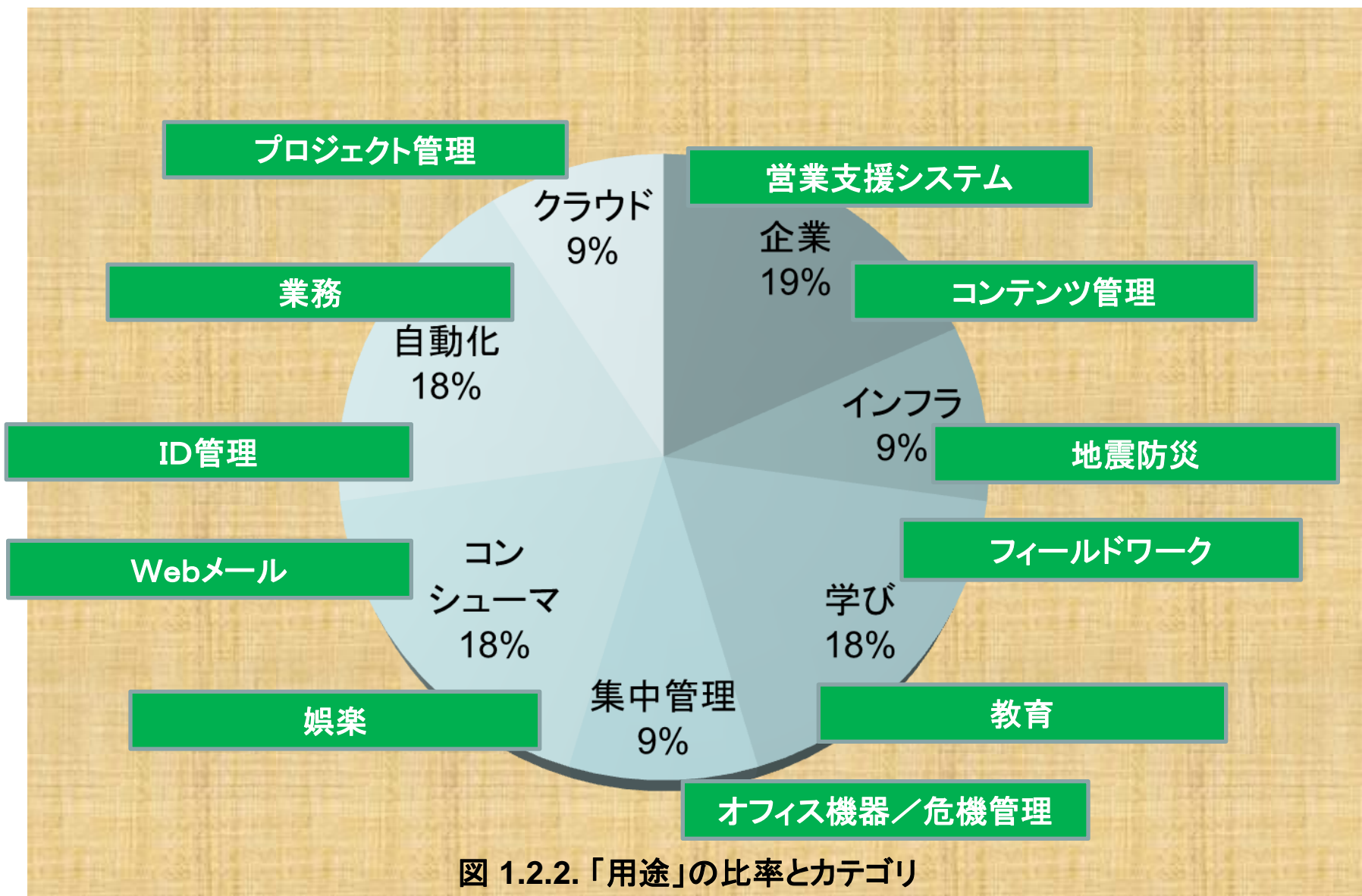
Ruby適業領域事例から用途でカテゴリを分類した表を作成しています。分析のために、「用途」の比率とカテゴリ」と「用途」の比率と開発名称」の円グラフを作成しています。

1.2.1 用途とカテゴリで整理

用途	カテゴリ	開発名称
企業	営業支援システム	「新営業支援システム」
企業	コンテンツ管理	「TapSales」
インフラ	地震防災	「SUPREME (シュープリーム)」
学び	フィールドワーク	「Project E」
学び	教育	「リメディアル教育システム」
集中管理	オフィス機器／危機管理	「ききマネージ」
コンシューマ	Webメール	「SYNCDOT」
コンシューマ	娯楽	「水族館エンターテイメントシステム」
自動化	業務	「業務システム自動搭載システム」
自動化	ID管理	「アカウント情報同期システム」
クラウド	プロジェクト管理	「Project Collaboration for J-SaaS」

表 1.2.1. 「用途」、「カテゴリ」、「開発名称」で整理

1.2.2. 「用途」の比率とカテゴリで整理



1.2.3. 「用途」と比率と開発名称で整理)

「Project Collaboration for J-SaaS」

「業務システム自動搭載システム」

「アカウント情報同期システム」

「SYNCDOT」

「水族館エンターテインメントシステム」

クラウド
9%

自動化
18%

コン
シューマ
18%

集中管理
9%

「新営業支援システム」

企業
19%

「TapSales」

「SUPREME (シュープリーム)」

「Project E」

インフラ
9%

学び
18%

「リメディアル教育システム」

「ききマネージ」

図 1.2.3. 「用途」の比率と開発名称

【説明と分析】

「用途とカテゴリ」では、多様なカテゴリに適用されRubyの適合分野も広がってきているようです。RubyのISO化による品質向上や認知度が進み、今までのRubyで開発されたツール群の利用から一般の企業で利用する業務システムやサービス用途としての適用範囲が増えてきているようです。

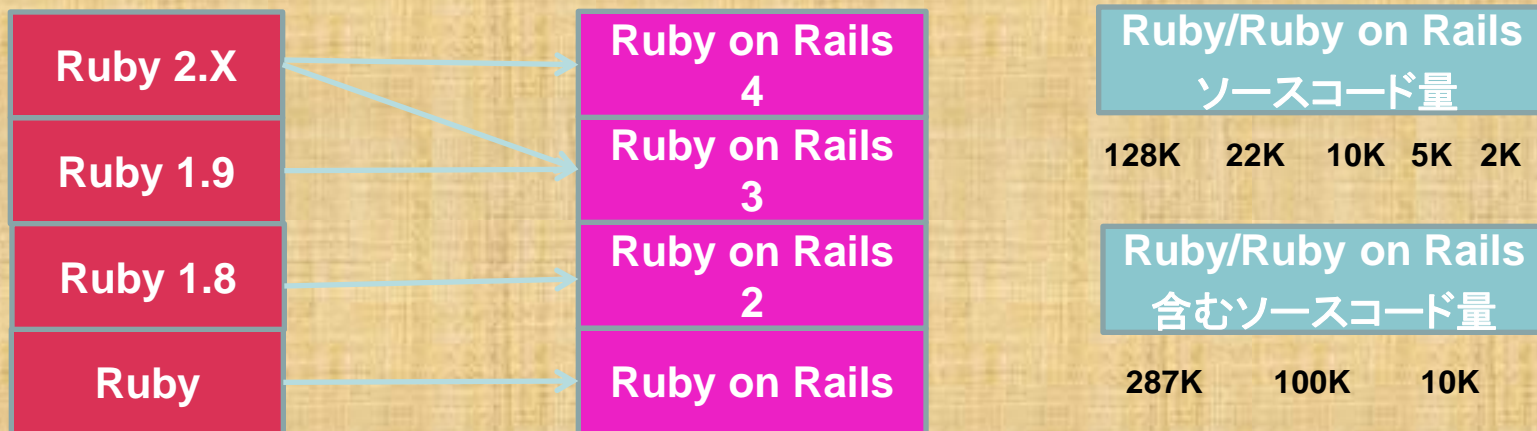
「用途と開発名称」からは、「企業」、「自動化」、「コンシューマ」、「学び」の比率が多くなっています。「自動化」では、ツール群として、「Chef」や「SDNコントローラ」などで利用されているのが有名です。そして、「学び」では、「フィールドワーク」を通して、新たな気づきによるイノベーションで利用されています。

1.3. 利用機能による整理

Ruby適合領域事例から「利用機能」で「Ruby/Ruby on Railsのバージョン」、Ruby/Ruby on Railsの「ソースコード量」、Ruby/Ruby on Railsを含むソースコード量について記載しています。さらに、Webサーバ、データベース名を記載しています。

1.3.1 利用機能で整理(1)

Ruby / Ruby on Rails / Rubyソースコード量



- Webサーバ

Apache

Nginx

Mongrel

- データベース

WebSocketリバースプロキシ

PostgreSQL

MySQL

MongoDB

(ActiveRecord経由)
(Sequel 経由)

(ActiveRecord経由)

(mongoid経由)

図 1.3.1. 「Ruby/Ruby on RailsのバージョンとWeb/データベース

【説明と分析】

Ruby1.9～2.0までのバージョンからRuby on Railsなし～Ruby on Rails4を利用しているかを示しています。現時点では、Ruby on Rails4の利用は公開されていません。Ruby1.9 と Ruby2.0では安定度の高くなってきたRuby on Rails3 を利用していることが多いようです。

ソフトウェア規模を把握するためにソースコード量の数値を参考までに記載しています。

Webサーバは、「Apache」、「nginx」、「Mongrel」などが使用されています。

データベースは、「PostgreSQL」、「MySQL」、「MongoDB」などを使い、Ruby on Railsから「ActiveRecord」や「Sequel」、「mongoid」経由などで利用されています。現在では、複数のWebサーバ、データベースが活用されています。

1.4. 参考：事例ヒアリング詳細

部会メンバーからRuby適合領域の事例収集した主要なヒアリングシート一覧の詳細です。

1.4.1. Ruby適合領域事例 詳細(1)

団体名	〇〇〇〇(株) ※Ruby適合領域事例ヒアリングシート(案)	東京ガス(株) /(株) ティージー情報ネットワーク
開発名称	「 」	「 SUPREME (シュープリーム) 」
リリース時期	20xx年xx月 ()	2009年10月
業種	全部(自社ソフト)	エネルギー
開発用途	<input type="checkbox"/> 自社開発 <input type="checkbox"/> 顧客システム	■ 自社開発
Ruby バージョン	<input type="checkbox"/> Ruby 1.8 <input type="checkbox"/> Ruby 1.9 <input type="checkbox"/> Ruby 2.0 <input type="checkbox"/> Ruby 2.1	■ Ruby 1.8
Ruby on Railsバージョン	<input type="checkbox"/> RoR 2 <input type="checkbox"/> RoR 3 <input type="checkbox"/> RoR 4	■ RoR 2
Rubyのソースコード量	<input type="checkbox"/> 総ステップ数(<input type="checkbox"/> 5k <input type="checkbox"/> 10k <input type="checkbox"/> 100k <input type="checkbox"/> その他() k <input type="checkbox"/> テストソースコード含む <input type="checkbox"/> テストソースコード含まない	■ 10k ■ テストソースコード含む
	<input type="checkbox"/> Rubyソースコード量(<input type="checkbox"/> 5k <input type="checkbox"/> 10k <input type="checkbox"/> 100k <input type="checkbox"/> その他() k	■ 5k
	<input type="checkbox"/> Ruby on Railsソースコード量 (<input type="checkbox"/> 5k <input type="checkbox"/> 10k <input type="checkbox"/> 100k <input type="checkbox"/> その他() k)	■ 5k
利用Webサーバ	<input type="checkbox"/> Apache <input type="checkbox"/> Nginx <input type="checkbox"/> その他()	■ Apache - -
利用データベース	<input type="checkbox"/> ActiveRecord <input type="checkbox"/> MySQL (ActiveRecord経由で) <input type="checkbox"/> PostgreSQL (ActiveRecord経由で) <input type="checkbox"/> その他()	- ■ MySQL (ActiveRecord経由で) -
OSSサポート		なし

表 1.4.1. Ruby/Ruby on Railsの適業領域ヒアリングシート

1.4.2 Ruby適合領域事例 詳細(2)

(株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ	(株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ	(株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
「ききマネージ」	「新営業支援システム」	「Project E」
2010年5月	2012年12月	2014年12月 (予定)
全部(自社ソフト)	製薬	全部(自社ソフト)
■ 自社開発	■ 顧客システム	■ 自社開発
■ Ruby 1.8	■ Ruby 1.9 ⇒ Ruby 2.0 (2014/7)	■ Ruby 2.0
■ RoR 2	■ RoR 3	■ RoR 3
■ 10k	■ その他(100K以上)	■ 5k
■ テストソースコード含む	■ テストソースコード含む	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
■ Apache	-	■ Apache
-	■ Nginx	■ Nginx (WebSocketリバースプロキシとして利用)
-	-	-
■ ActiveRecord	-	-
■ MySQL (ActiveRecord経由で)	-	-
■ PostgreSQL (ActiveRecord経由で)	■ PostgreSQL (9.2)	-
-	-	■ その他(MongoDB) (mongoid経由で)
-	-	未定

表 1.4.2. Ruby/Ruby on Railsの適業領域ヒアリングシート

1.4.3. Ruby適合領域事例 詳細(3)

(株)富士通システムズ・イースト 「自社パッケージ製品開発」	(株)日立ソリューションズ 「水族館エンターテイメントシステム」	(株)日立ソリューションズ 「リメディアル教育システム」
2014年9月 (予定)	2010年4月	2011年1月
全部(自社ソフト)	公共	公共
■ 自社開発	■ 顧客システム	■ 顧客システム
■ Ruby 1.9	■ Ruby 1.8	■ Ruby (バージョン非公開)
-	■ RoR 2	■ RoR (バージョン非公開)
■ その他(287 k)	-	-
■ テストソースコード含む	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
■ Apache ■ Phusion Passenger	■ Apache	■ Apache
-	-	-
-	■ その他(Mongrel)	-
-	-	-
■ MySQL (Sequel 経由で)	-	-
■ PostgreSQL (Sequel 経由で)	■ PostgreSQL (ActiveRecord経由で)	■ PostgreSQL (ActiveRecord経由で)
-	-	-
製品機能に関するものだけ自社で対応	なし	なし

表 1.4.3. Ruby/Ruby on Railsの適業領域ヒアリングシート

1.4.4. Ruby適合領域事例 詳細(4)

アースインターシステムズ(株)	(株) HTKエンジニアリング	(株) HTKエンジニアリング
「Project Collaboration for J-SaaS」	「アカウント情報同期システム」	「業務システム自動搭載システム」
2009年7月	2012年9月	2014年9月(予定)
全部(自社ソフト)	電子商取引システム	電子商取引システム
■ 自社開発	■ 顧客システム	■ 顧客システム
■ Ruby1.8	■ Ruby 1.9	■ Ruby 1.9
■ RoR 2	フレームワーク使用せず	フレームワーク使用せず
■ 100k □ その他(128 K)	■ その他(2 K)	■ その他(22 K)
■ テストソースコード含む	—	■ テストソースコード含まない
—	■ テストソースコード含まない	■ テストソースコード含まない
—	■ その他(2 K)	■ その他(22 K)
■ その他(89 K)	—	—
■ Apache	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
■ MySQL (ActiveRecord経由で)	—	—
—	—	—
—	—	—
なし	なし	なし

表 1.4.4. Ruby/Ruby on Railsの適業領域ヒアリングシート

1.4.5. Ruby適合領域事例 詳細(5)

(株)シーイーシー		
「TapSales」		
2014/12(予定)		
全部(自社ソフト)		
■ 自社開発		
■ Ruby 2.1 (旧: Ruby 1.8.7)		
■ RoR 4 (旧: RoR 2.3.11)		
■ 10k		
-		
■ テストソースコード含まない		
■ 5k		
-		
■ Phusion Passenger		
■ Nginx		
-		
-		
■ MySQL (ActiveRecord経由で)		
-		
-		
なし		

表 1.4.5. Ruby/Ruby on Railsの適業領域ヒアリングシート

2. 開発／運用環境事例一覽

Ruby開発／運用環境の整理と調査では、アプリケーション部会メンバーから自由フォーマット形式で情報収集を実施し、ピックアップした4社にて比較分析しています。

調査時期は下記となります。

- ・【開発環境事例】A社 ※2013.2 調査
- ・【開発環境事例】B社 ※2014.6 調査
- ・【開発環境事例】C社 ※2014.7 調査
- ・【開発環境事例】D社 ※2014.11 調査

2.1.1 Ruby開発／運用環境事例(概要)

開発／運用環境事例	A社	B社	C社	D社
開発ターゲット	-	-	メールソリューション群 ・Webメーラー ・SMTP,POP,IMAPサーバー ・メールアーカイブ、メールフィルタ	-
標準開発基盤	-	あり	-	-
開発用OS	・Windows ・Linux ・Cygwin ・社内クラウドでWindows ・社内クラウドでLinux	・Windows7 ・一部Linux	・Windows (VM(Virtualbox)でLinux) ・一部Linux	・MacOS X
利用形態	・仕事 / 趣味	仕事	仕事	仕事
統合開発環境	・Eclipse ・Eclipse4.2+RadRails+RDT ・Aptana Studio3 ・NetBeans IDE 6.9.1 ・RDE	・NetBeans	・使われていない	・NetBeans ⇒ Atom
編集関連	・vim ・Emacs ・秀丸エディタ、マクロ ・サクラエディタ ・notepad.exe ・Dos窓(テキスト)	-	・Vim ・Emacs	-
インシデント管理	・Redmine ・Trac	・Redmine ・Trac	・Redmine	・Redmine
リポジトリ管理	・Subversion ・Git ・Gitlab	・Subversion ・Git	・Subversion ・Git クライアント: ・Gitolite(管理) ・Emacs + magit ・SourceTree	・Gitolite ⇒ GitBucket

表 2.1.1. 開発／運用環境事例一覧

【説明と分析】

開発ターゲットについては、C社のメールソリューション群の開発用途での事例となっています。Ruby/Ruby on Railsのための標準開発基盤を利用しているB社などがあります。開発用OSは、Windowsの利用が多く、一部では、Linuxや社内クラウド利用しています。利用形態として、仕事や趣味で利用している人達もいます。

統合開発環境では、「Eclipse4.2+RadRails+RDT」、「NetBeans」や「Aptana Studio3」、「atom」などや、編集関連などでは、「vim」、「Emacs」などが主に利用されています。エディタから統合開発環境を利用することも多くなってきているようです。

インシデント管理では、「Redmine」、「Trac」が主に利用されています。また、リポジトリ管理では、「Subversion」や「Git」が主に利用されていて、クライアント管理では、「GitLab」や「Gitolite」などが利用されています。Gitへの移行が進んでいると思われます。

2.2 Ruby開発／運用環境事例（詳細）

Ruby開発／運用環境では、ピックアップした4社から情報収集したフリーフォーマットによる詳細情報です。

Rubyの開発環境について、弊社内で下記の内容でアンケート(26名)を実施

■利用形態 《 仕事(17) / 趣味(12) 》

■編集関連 《 eclipse(7) / emacs (4) / vim(14) / 秀丸エディタ(5) 》

■インシデント管理 《 redmine (4) / trac(1) 》

■リポジトリ管理 《 git (10) / gitlab(2) / svn(6) 》

■その他

《 Aptana Studio3 / notepad.exe / DF / Devas / NetBeans IDE 6.9.1 / Hudson
DOS窓(テキスト) / RDE / 秀丸マクロ / サクラエディタ / Eclipse 4.2 +
RadRails(Aptana plugin) + RDT / Cygwin / Aptana RadRails/ Aptana 》

2.2.2【開発／運用環境事例】A社(2)

※2013.2 調査 Japan OSS Promotion Forum

	利用形態		編集関連				インシデント管理		リポジトリ管理			その他
	仕事	趣味	eclipse	emacs	vim	秀丸エディタ	redmine	trac	git	gitlab	svn	
1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>					
2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>						
4	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>						<input type="radio"/>	Aptana Studio3
5	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>						<input type="radio"/>			notepad.exe
6	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>						<input type="radio"/>	
7	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
8	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>						DF、Devas
9	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
10	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>			NetBeans IDE 6.9.1
11	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	Hudson
12	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
13	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>			
14	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	DOS窓(テスト)
15	<input type="radio"/>											RDE
16	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		秀丸マクロ
17	<input type="radio"/>											サクラエディタ
18		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>						<input type="radio"/>	Eclipse4.2 + RadRails(Aptana plugin) + RDT
19		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>						<input type="radio"/>	
20		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>							Cygwin
21		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						
22		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>							
23		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>			Aptana RadRails
24		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>								
25		<input type="radio"/>										Aptana
26		<input type="radio"/>							<input type="radio"/>			
	17	12	7	4	14	5	4	1	10	2	6	

表 2.2.2. 開発／運用環境事例のヒアリングシート結果

弊社のRuby開発としては、以下の環境を標準環境として用意
プロジェクト参画者の大半が下記環境を利用

【標準開発環境】

《OS》	Windows 7	
《IDE》	NetBeans	
《インシデント管理》	Trac / Redmine	(両提供、プロジェクトにて選択)
	Trac : Redmine	= 1:1の割合で利用
《リポジトリ管理》	Subversion / Git	(両提供、プロジェクトにて選択)
	Subversion : Git	= 4:1の割合で利用

上記の標準開発環境は絶対的なものではなく、プロジェクト次第で 変更可能

例えば、システムがLinux上で構築するのであれば開発環境も合わせて
Linux上で開発を実施

弊社のRuby開発環境

■ メールソリューション製品群

- ・Webメーラー
- ・SMTP, POP, IMAPサーバー
- ・メールアーカイブ, メールフィルタ

■ パッケージ製品

- ・2003年からRubyで開発

■ 主な使用OSS

- ・Ruby
- ・Apache Passenger
- ・Postfix
- ・MySQL(商用ライセンス)

■ Ruby

- ・1.9.3
- ・2.1 への移行検討中

■ Web Application Framework

- ・Rack
- ・独自
- ・一部 Padrino

■ RDBMS

- ・MySQL (V5.5 / 商用版)
- ・Symfoware (V12 (Open) / PostgreSQL互換)
- ・Sequel 経由で使用

■ エディタ

特に縛りなし (Vim / Emacs / その他)

■ テスト

RSpec / Cucumber / Turnip

■ バージョン管理

• Git (Subversion → Git)

• 管理 Gitolite

• クライアント

ほとんどは Linux で git コマンド

一部 Emacs + magit / 一部 SourceTree

■ Jenkins (CI)

- Gitリポジトリにコミットすると自動的に
RSpec実行 / Cucumber実行 / テスト環境にデプロイ
- 手動でボタンを押すと
マニュアル作成 / rpm作成 / 製品ISOイメージ作成 / 性能測定 (グラフ化まで)

■ Redmine (BTS)

- バグ管理 / 要望管理 / スクラム風チケット管理 / バーンダウンチャート

■ PC

- ほぼWindows
VM(VirtualBox)にLinuxを載せて開発 & テスト
- 一部Linux

■ Docker

- CentOS VM で複数の Docker コンテナが動作
- 主にテスト環境に使用

■ カバレッジ

- SimpleCov による C0カバレッジ / 100% 目標
- 新しく書いたコードは 100% 必須
- Ruby は実行してみないと typo にも気づけない

■ IRC

- 同じ場所にいるけど基本はIRCで会話
- Jenkins ジョブの結果通知 / コードレビュー / 朝会・夕会の時刻のお知らせ

■ 製品同梱OSS(主なもの)

- Ruby / Apache (Passenger) / Postfix / MySQL / Padrino / Sequel / jQuery
- その他 Gem 等

■ 開発に使用しているOSS

- RSpec / Cucumber / Turnip
- Git / Gitolite
- Redmine
- Jenkins
- IRCD-Hybrid / nadoka
- Re:VIEW / wkhtml2pdf
- VirtualBox

以上

■ RubyやRailsのバージョンアップへの対応について

・弊社では、RubyもRailsも2バージョンアップとなり、既存のコードを書き直すより、新たに作り直した方が効果的であると判断して、作り直しを選んだものです。

・開発環境について、下記のようにいくつか変更有

IDE、エディタ: NetBeans -> Atom

レポジトリ管理: gitolite -> GitBucket

・開発機のOSとBTSについては、MacOS XとRedmineで、変更なし

以上

3. まとめ

- 様々な分野で使われるようになっている
- 一部は大規模な事例もある
- 最近の事例では業務システムへの適用等が増えてきている
- Rubyのみの事例、Ruby on Railsと組み合わせた事例があり、バージョンは様々。一部にバージョンアップをしている事例があるが、リリースが早いこともあり、今後はバージョンアップ事例が増えていくものと思われる
- 開発、実行環境は会社により異なっている

日本OSS推進フォーラム アプリケーション部会へ

Ruby適業領域事例 と 開発／運用環境事例

について

ご意見や事例提供を頂ければ幸いです。

- ・ 東京ガス株式会社 / 株式会社ティージー情報ネットワーク
「SUPREME（シュープリーム）」
- ・ 株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
「ききマネージ」、「新営業支援システム」、「Project E」
- ・ アースインターシステムズ株式会社
「Project Collaboration for J-SaaS」
- ・ 株式会社富士通システムズ・イースト
「自社パッケージ製品開発」 SYNC DOT WebMailer
- ・ 株式会社日立ソリューションズ
「水族館エンターテイメントシステム」、「リメディアル教育システム」
- ・ 株式会社HTKエンジニアリング
「アカウント情報同期システム」、「業務システム自動搭載システム」
- ・ 株式会社シーイーシー
「TapSales（旧名称：Moviebook Enterpriseのリニューアル）」

